

かたつむり通信

第23号



発行: NPO法人

しながわチャイルドライン

品川区東大井5-23-24-203

TEL/FAX 03-5462-2868

<http://www.sinagawachild>

[line.org](https://line.me/tv/p/00000000000000000000) 2019・7・1

総会を終えて＝2019・5・18＝

代表理事 浅川周二

今年も無事総会を終了することができました。議案7件すべて賛成多数を以て可決いただきましたことを、ここにご報告申し上げます。会員の皆様、ご支援くださっている皆様のご協力に、心よりお礼申し上げます。

お陰様でしながわチャイルドラインの活動も18年目に入りました。(2002年1月設立)
NPO 法人設立 9 年目です。

子どもの声を聴き、一緒に考え、子どもに寄り添う活動をこのように長くボランティアで継続することができていますのは、チャイルドラインが子どもたちにとって必要だからです。

子どもの権利条約をご存知でしょうか。

- ① 子どもをひとりの人間として尊重し、子どもの目線に立って物言を理解する。
- ② 考えを押しつけず、子どもの主体性を尊重する。
- ③ 子どもたちが安全で幸せに育つ権利を保障し、推進する。



世界的に承認されている権利条約を活動の基本に特に 3 条「子どもの最善の利益」を一番に考え、子どもの話に耳を傾けています。

また、チャイルドラインでは、子どもたちが安心して電話で話せるように以下の4つの約束を掲げています。

- ① ヒミツは守るよ。 ② 名前は言わなくてもいい。
- ③ 切りたいときには切っていい。 ④ どんな事もいっしょに考える。

これらの活動を行うために様々な組織を作りました。

事務局、研修部、広報部、渉外部等、会員数も90名近くになり、「子どもの話を聴き、寄り添う活動は行っていますが、組織や事務方の仕事は良く解らない」等の声があります。

これらの事を考えて、組織基盤整備計画が総会で承認され、この計画のためのプロジェクトチームが立ち上がりしました。下記の①②が今後の取り組みです。

- ① 以下(a)(b)(c)の理由のため「組織の役割の明確化」が必要と考えます。

- (a) 会員が90名となり、内部の必要な連絡や作業進行分担、決定手続きなど、不明確なところが少なくなく、そのことで無駄もおきている。(b) 各部は活発に動いているが、相互の連絡が不十分で、責任の所在が不明確な部分がある。(c) 対外的に必要な対応がしきれていないことがある。

したがって、現在の組織構造を見直し、内部の風通しをよくするように、それぞれの主体性、自主性を大切にしながら無駄のない組織運営を図れるようになることをめざしていきます。



夏休み明け全国キャンペーン(8/22～9/4 14:00～23:00)実施

夏休み明けの子どもたちが、新学期を無事にスタートできることを願い、又、楽しかったこと、困っていること等子どもたちの声に耳を傾けようと、日本中のチャイルドラインで全国キャンペーンを実施いたします。

☆キックオフ～組織基盤整備プロジェクト～☆

6月5日、組織基盤整備PT(プロジェクトチーム)の第1回会合を持ちました。

13人が参加し、ワークショップ形式で進めました。

みんなの思いは「しなチャイが好き！」であり、でも普段活動する中で「困りごとが少なからずあり、それってなんなんだろう？」と疑問を持ち、それは「組織も活動規模もだんだん大きくなった、しなチャイの解決しなくちゃならない組織課題なんだ！」と、ほぼ共通した認識にいたりました。

ワークショップでは「困りごとは？」「それはなぜ？」「どうしたらよいのか？」を考えていき、それぞれ思っていることを出し合いました。

そして出した問題、組織課題は

「事業」

「組織形態」

「コミュニケーションツール(内部外部)」

の三分野に分けることができ、6月22日、三浦海岸での宿泊研修でさらに深めていくことになりました。

手間暇のかかる作業ですが、この作業抜きにはしながわチャイルドラインの未来はない！と言っても過言ではないと思います。

次回は7月25日、第3回目の「組織基盤整備プロジェクト」を実施いたします。(H・I)

☆しながわチャイルドライン・2018年度の電話概要☆

* 全国のチャイルドライン : 総受信数 181,362 件(前年度:198,541 件)9%↓

* しながわチャイルドライン:

総受信数 4,766 件(前年度:6,172 件)23%↓

会話成立 1,522 件(前年度:1,692 件)10%↓

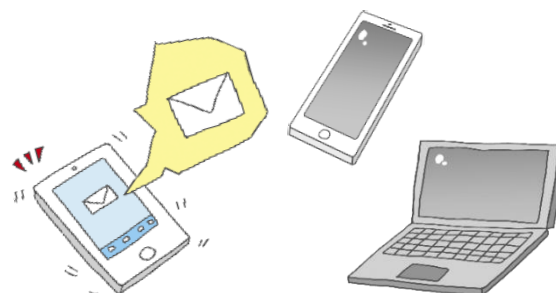


※送受信数の減少傾向は、子どもがつながる相談先の選択肢が増えたことと、子どもの電話離れが考えられます。しかし、子どもとの会話時間はほとんど変わっていません。

一方で、オンラインやSNSへの変化の傾向をふまえて、チャイルドライン支援センターでは電話に並ぶツールとして、オンライン相談に取り組み、子どもたちの選択肢を増やす試みを、全国のチャイルドラインに拡げています。しながわチャイルドラインでも、今の子どもたちのコミュニケーションツールの主流であるオンラインも視野に入れ、一人でも多くの子どもが笑顔になれるように取り組みを進めていきます。

2019年4月～6月のしながわチャイルドライン電話受信状況

2019年	総受信数	会話成立	開設時間
4月	221	103	30
5月	369	136	37.5
6月	312	116	32
計	902	355	99.5



(※当ラインでは今年度、昨年度の日曜日常設試行を経て、日曜常設を開始いたしました。)

☆ボイス・アラカルト☆

傾聴スキルアップ研修に参加して

チャイルドライン活動を始めて 1 年が経過し、ちょうど良いタイミングで「傾聴スキルアップ研修」が開かれるというので参加した。

講師の末松先生の言葉の中で特に印象に残ったのは「人が生きていく上で特に大切なのは、思いやりと知恵」「その子が電話をしてくるのは心を開こうとしている時。だから受け手も心を開くことが大事」「今、ここでの関わりが大切」「チャイルドラインは、人の温もりを求めている人との善き出会いを目指している」等心がけていきたい。

後半、3人組でのロールプレイは、とてもためになった。「出来事を丁寧に聞いているけど。。。と指摘され、まだまだと自分のあり方を振り返る良い機会になった。昨今の価値観の変化を感じ、これからも、新聞を読んだり、テレビのニュース番組を見たりして、社会の情勢に敏感でありたいと痛感した。

(N・N)

♡子どもの心の中にあたたかな♡

慌ただしく過ぎていく日々の中では、ついつい自分自身のことをこなすだけで精一杯になってしまう。自分も、環境の変化に乗り遅れないようにと自分のことだけで精一杯になっていた先日、とある学校の先輩が自動販売機でコーヒー牛乳を買って「頑張ってるみたいだから、これ飲みな」と渡してくれた。コーヒー牛乳は自分の体と心に沁みて、ちょっと楽になった感じがした。一瞬の出来事だったが、自分の心に生まれた、誰かに優しくされたという温かな気持ちは今も残っている。子どもと話す時も、一瞬でも子どもの心になにか温かい気持ちが湧上ると、いいなと！

(U・A)

★不安がいっぱい～～★

活動を始めた頃、解らないことばかりで不安がおおかった。皆さんが温かく声をかけて下さり、少しずつ不安な気持ちがなくなってきました。これからは精一杯頑張っていきたいと思っています。

二日間の宿泊研修もすごく楽しい学びでした。(A・T)

☆黄色いレシート参加☆

今年も黄色いレシートキャンペーン毎月11日しながわシーサイドのイオンでやります。

一時間でも30分だけでも参加できます。

お客様から幸せの黄色いレシートを頂くだけの簡単なボランティアですが、子どもたちに直接チャイルドラインカードを手渡すいい機会です。また、当会の大切な運営資金の助けになります。皆で都合をつけあって、参加していきます！

◎出前講座やっています◎

子どもに寄り添うだけにとどまらず、今子どもたちが何に悩んでいるのか、子どもたちを取りまく状況がどうなっているのかをチャイルドラインならではの視点で世の中に発信していくことも私たちの大切な役割です。

チャイルドラインの活動を、寸劇や紙芝居等で、子どもたちや、関係者の方々にて伝えています。

学校、PTA、地域の皆さん、どうぞ、声をかけてください！お待ちしております。

～～かけてきた子どもの声～～

・最初怖くって、迷ったけど電話した時とても優しい声だったから話しやすかった。私には嫌なことを話す人がいなかったからとても嬉しかった。(小学生女子)

・親身になって話を聴いてくださり、人に相談することで自分の感情があふれてきてたくさん泣きました。でも泣いてスッキリしたし自分の話を聴いてくれてとても嬉しかったです。(中学生男子)

～～どんな電話がかかってくるの～～

・テストで100点とったんだよ。(小学生男子)

・学校に行きたくない。いじわるされる。先生は知っているけどどうしていいか解らないみたい。(小学生女子)

・自分の体が今までと違ってきてる。勉強に集中できない。自分の体が汚らしく感じてしまう。(中学生男子)

・家に帰れない、お母さんの彼が来ているから邪魔なんだ、公園にいる。話してもいい？(小学生女子)

・夏が来ると半袖の制服やプールの授業がとてもしや。リスカの傷があるから。家族には絶対見つからないようにしているのに(高校生女子)

～チャイルドライン支援センター『2018 チャイルドライン年次報告』より引用～

● 2019年度 年間活動予定 ●

- ・チャイルドラインの常設活動実施 日曜日・水曜日・金曜日
- ・毎月1回継続研修実施 ・常時出前講座（アウトリーチ）実施
- ・毎月11日黄色いレシートキャンペーン参加（おおむね16時～19時までのうち2時間）
- 4月 チャイルドライン支援センター総会
- 5月 しながわチャイルドライン定期総会（18日）
- 6月 公開講座「岩室伸也氏講演会」（1日）＝東京都共同募金会助成事業
- 7月 子どもたちへのカード配布（品川区他3区、都2市） オンライン研修会（6・7日）
子ども若者応援セミナー「居場所のちから・西野博之氏講演会」（21日）
- 8月 チャイルドライン全国キャンペーン（8月22～9月4日）参加
- 9月 福祉まつり参加（21日）
- 10月 18期養成研修（毎週火曜日全11回～12月）立正大学と共催
子育てメッセ参加（18日） 公開講座「遊びの生まれる場所西川正氏講演」（29日）
- 11月 公開講座「子どもの貧困阿部彩氏講演」（19日）
チャイルドライン全国フォーラム参加
- 12月 望年研修会（秋のチャイルドライン全国フォーラム報告会&懇親会）
- ‘20年1月 18期生入会オリエンテーション&実地研修 CL南関東エリア会議
- 2月 チャイルドライン全国運営者会議（二日間）
ふれあい子どもまつり参加（11日） 地域貢献活動展参加

♡ご支援ありがとうございます！

（順不同・敬称は省略させていただきました）

- ・イオン株式会社 ・花王株式会社 ・花王ハートポケット倶楽部 ・一般社団法人昭和会館 ・東京Ⅲゾーンクラブ
- ・株式会社東京正武堂 ・社会福祉法人 東京都共同募金会 ・社会福祉法人 品川区社会福祉協議会
- ・たつのこどもクリニック（田角恭子）・立正佼成会品川教会 ・清子フラスタジオ生徒会

浅川周二 浅川ハマエ 稲塚由美子 井上耕一 瓜生敦子 金子みゆき 木下徹 北島浩之
佐波幸子 清水佳子 高野陽一 田邊優美子 徳江安子 野中君子 服部裕 保科うた子
本道秀夫 本道政夫 松澤麗子 山口清子 横井岳夫 米川宏一 匿名4名 （2018年度）



★ 寄付やカンパでご支援ください ★

しながわチャイルドラインは正会員費・賛助会員費・寄付金・助成金によって運営が成り立っています。全国のチャイルドラインは現在70箇所あります。年間で約20万人の子どもたちの電話をフリーダイヤルやオンラインで聴いています。子どもたちは、どこからでも聴いてほしいことを無料でかけられます。1年間の電話代の総額は約2千万円になります。全国で連携をして365日24時間を目指し、常設場所の確保や回線の増設、電話を受けるボランティアの育成を考え努力しています。



【正会員】年会費1口6,000円 【賛助会員】年会費1口2,000円*ご寄附、商品券等も受けています
振込口座：ゆうちょ銀行 振替口座：00160-5-664278 宛先：NPO法人しながわチャイルドライン
*会費・ご寄付の使途は、子どもたちに配布するカード作成（1枚0.65円）費
フリーダイヤルの継続費・リーフレット・チラシ制作費、活動、運営の資金などです*